

下水道を活用した使用済み紙オムツの減量化に向けた実証実験の開始! ~介護等の現場における負担軽減を目指して~

葉山町環境部下水道課と特別養護老人ホーム葉山グリーンヒルは、介護等の現場における負担軽減を目的に株式会社 LIXIL が実施する下水道を活用した使用済み紙オムツの減量化の可能性を検証するための実証実験を令和4年6月1日より開始しました。

〇人口減少·超高齢化社会を迎え、介護職員等の負担軽減は喫緊の課題となっています。特に、使用済み紙オムツは臭気、保管場所や運搬に苦慮しており、<u>下水道に受け入れることで介護の現場での利便性向上が期待</u>できます。紙オムツ処理装置により、<u>使用済み紙オムツの減量減容化</u>(参考:重量2分の1、容積3分の1)が図れ、かつ臭気の抑制が可能になります。

実験の概要

特別養護老人ホーム葉山グリーンヒルで使用した紙オムツを株式会社LIXILが開発した処理装置を使って処理し、下水道施設に与える影響等の調査を行います。

·実験期間:令和4年6月1日(水)~6月30日(木)

・実験内容:①下水道施設への影響調査

②排水水質の確認

③介護施設職員へのヒアリング



紙オムツ処理機



小野副町長 投入の様子



㈱LIXIL·小野副町長·髙木施設長

〈問合せ先〉

環境部下水道課 秋本 046-876-1111 (内線 363)